



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社Paltac
コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 部長
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 折目 光司
(氏名) 嶋田 政治

TEL 06-6262-1554

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 590,202 | 1.2 | 7,507 | 30.1 | 11,338 | 17.4 | 4,458 | △15.5 |
| 23年3月期第3四半期 | 582,919 | 1.7 | 5,772 | △23.4 | 9,656 | △13.2 | 5,275 | △10.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 79.83 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 94.45 | — |

(注)平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を記載しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 302,715 | 109,268 | 36.1 | 1,956.35 |
| 23年3月期 | 297,850 | 106,057 | 35.6 | 1,898.86 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 109,268百万円 23年3月期 106,057百万円

(注)平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を記載しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 23年3月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| — | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 24年3月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 40.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成24年3月期(予想)につきましては、当該株式分割を実施した後の金額を記載しており、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は50円00銭(期末30円00銭)となります。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|---------|-----|-------|------|--------|------|-------|------|------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 通期 | 770,000 | 1.6 | 9,200 | 55.6 | 14,200 | 23.6 | 6,100 | 77.8 | 109.21 | |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が期首に行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を記載しております。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、[添付資料]3ページ「(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 55,853,485 株 | 23年3月期 | 55,853,485 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 193 株 | 23年3月期 | 150 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 55,853,326 株 | 23年3月期3Q | 55,853,480 株 |

(注) 当社は、平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | | |
|-----|--------------------------|---|
| 1. | 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) | 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) | 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) | 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. | サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| (1) | 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. | 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) | 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) | 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) | 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) | 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) | 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (6) | 重要な後発事象 | 8 |
| 4. | 補足情報 | 9 |
| (1) | 生産、受注及び販売の状況 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興により、緩やかな持ち直し傾向がみられるものの、厳しい雇用情勢やデフレに加え、欧州の政府債務危機や為替・株価の変動などの影響により景気の下振れが懸念されるなど、厳しい状況が続いております。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、所得環境の低迷を背景とした節約志向が続く中、企業間競争の激化等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は「美と健康」に関わる生活必需品をフルラインで全国に販売する中間流通業として、高品質・ローコストのロジスティクス機能、取引先の効果的な品揃えや販売活動を支援するマーチャンダイジング機能およびストアソリューション機能の強化を図り、サプライチェーン全体の効率化を目指した取組みを行いました。

加えて、自家発電装置の導入等によるB C P（事業継続計画）の強化を図り、取引先により安心いただける企業基盤の整備を推進しております。

また、出荷拠点の集約や、希望退職の実施による適正人員体制の構築などにより、ローコスト経営の基盤強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,902億2百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は75億7百万円（前年同期比30.1%増）、経常利益は113億38百万円（前年同期比17.4%増）となりましたが、希望退職の実施により、特別退職金を特別損失に計上したため、四半期純利益は44億58百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

卸売事業

卸売事業は、取引先との取組強化によるインストアシェアの拡大や、震災による生活必需品の一時的な需要増加などにより堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は5,811億28百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は82億89百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

物流受託事業

物流受託事業は、受託先の安定した事業展開および前期に取引を開始した新規受託先の增加分が寄与し堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は90億74百万円（前年同期比38.6%増）、営業利益は13億41百万円（前年同期比295.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて48億65百万円増加し、3,027億15百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が70億74百万円、商品及び製品が53億54百万円増加したことや、現金及び預金が15億28百万円、有形固定資産が36億50百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて16億54百万円増加し、1,934億46百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が36億11百万円、1年内返済予定の長期借入金が16億4百万円、長期借入金が46億1百万円増加したことや、短期借入金が45億44百万円、未払法人税等が21億65百万円、賞与引当金が11億55百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて32億11百万円増加し、1,092億68百万円となりました。これは主に、利益剰余金が29億69百万円、その他有価証券評価差額金が2億43百万円増加したことによるものであります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より15億28百万円減少し、168億40百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億円（前年同期比19億84百万円の減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益80億42百万円、減価償却費36億80百万円、賞与引当金の減少額11億55百万円、売上債権の増加額70億74百万円、たな卸資産の増加額53億54百万円、仕入債務の増加額39億99百万円により79億89百万円の資金が得られたものの、法人税等の支払額43億9百万円、特別退職金の支払額58億27百万円、保険金の受取額23億72百万円があつたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は16億88百万円（前年同期比45億39百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出32億65百万円、有形固定資産の売却による収入15億31百万円、投資有価証券の取得による支出4億62百万円、敷金及び保証金の回収による収入8億91百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は60百万円（前年同期は56億68百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減少45億44百万円、長期借入れによる収入80億円、長期借入金の返済による支出17億95百万円、配当金の支払額14億83百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月31日公表の予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項**(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示****(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)**

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）および「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

当第3四半期貸借対照表日後（平成24年1月1日）において株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益および1株当たり純資産を算定しております。

なお、これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益および前事業年度末の1株当たり純資産は、以下のとおりであります。

| | |
|---------------|-----------|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 141円68銭 |
| 1株当たり純資産額 | 2,848円29銭 |

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 18,368 | 16,840 |
| 受取手形及び売掛金 | 131,442 | 138,516 |
| 商品及び製品 | 40,112 | 45,467 |
| その他 | 18,754 | 16,509 |
| 貸倒引当金 | △124 | △202 |
| 流動資産合計 | 208,553 | 217,131 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 37,525 | 36,711 |
| その他（純額） | 42,450 | 39,614 |
| 有形固定資産合計 | 79,976 | 76,325 |
| 無形固定資産 | 316 | 408 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 9,048 | 8,882 |
| 貸倒引当金 | △43 | △32 |
| 投資その他の資産合計 | 9,004 | 8,849 |
| 固定資産合計 | 89,296 | 85,584 |
| 資産合計 | 297,850 | 302,715 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 126,256 | 129,868 |
| 短期借入金 | 34,852 | 30,308 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,956 | 3,560 |
| 未払法人税等 | 2,165 | — |
| 賞与引当金 | 1,950 | 794 |
| 返品調整引当金 | 228 | 272 |
| 災害損失引当金 | 835 | 471 |
| その他 | 13,359 | 13,420 |
| 流動負債合計 | 181,603 | 178,695 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,848 | 10,449 |
| 退職給付引当金 | 2,098 | 1,817 |
| その他 | 2,243 | 2,485 |
| 固定負債合計 | 10,189 | 14,751 |
| 負債合計 | 191,792 | 193,446 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,482 | 12,482 |
| 資本剰余金 | 24,440 | 24,440 |
| 利益剰余金 | 68,714 | 71,683 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 105,636 | 108,606 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 418 | 662 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2 | 0 |
| 評価・換算差額等合計 | 420 | 662 |
| 純資産合計 | 106,057 | 109,268 |
| 負債純資産合計 | 297,850 | 302,715 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 582,919 | 590,202 |
| 売上原価 | 521,466 | 527,351 |
| 売上総利益 | 61,453 | 62,851 |
| 販売費及び一般管理費 | 55,681 | 55,344 |
| 営業利益 | 5,772 | 7,507 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 137 | 152 |
| 仕入割引 | 2,787 | 2,791 |
| 情報提供料収入 | 882 | 876 |
| その他 | 428 | 346 |
| 営業外収益合計 | 4,235 | 4,166 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 348 | 292 |
| その他 | 2 | 42 |
| 営業外費用合計 | 351 | 335 |
| 経常利益 | 9,656 | 11,338 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 88 | 233 |
| 貸倒引当金戻入額 | 2 | — |
| 受取保険金 | — | 2,372 |
| 罹災商品補填額 | — | 1,119 |
| その他 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 91 | 3,725 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 158 |
| 固定資産除却損 | 156 | 116 |
| 減損損失 | 237 | 906 |
| 特別退職金 | — | 5,827 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 158 | — |
| その他 | 40 | 11 |
| 特別損失合計 | 593 | 7,021 |
| 税引前四半期純利益 | 9,154 | 8,042 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,162 | 730 |
| 法人税等調整額 | 716 | 2,853 |
| 法人税等合計 | 3,878 | 3,583 |
| 四半期純利益 | 5,275 | 4,458 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 9,154 | 8,042 |
| 減価償却費 | 2,949 | 3,680 |
| 減損損失 | 237 | 906 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 28 | 66 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,065 | △1,155 |
| 返品調整引当金の増減額(△は減少) | 25 | 44 |
| 災害損失引当金の増減額(△は減少) | — | △363 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 148 | △178 |
| 受取利息及び受取配当金 | △137 | △152 |
| 支払利息 | 348 | 292 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △88 | △74 |
| 固定資産除却損 | 156 | 116 |
| 受取保険金 | — | △2,372 |
| 特別退職金 | — | 5,827 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 158 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △15,662 | △7,074 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △12,743 | △5,354 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 24,690 | 3,999 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 421 | 285 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | — | 851 |
| その他 | 140 | 600 |
| 小計 | 8,763 | 7,989 |
| 利息及び配当金の受取額 | 137 | 152 |
| 利息の支払額 | △327 | △276 |
| 法人税等の支払額 | △6,489 | △4,309 |
| 特別退職金の支払額 | — | △5,827 |
| 保険金の受取額 | — | 2,372 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,084 | 100 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,710 | △3,265 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 681 | 1,531 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △64 | △186 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △117 | △462 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 36 | 1 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 35 | 891 |
| その他 | △89 | △197 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,228 | △1,688 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △3,970 | △4,544 |
| 長期借入れによる収入 | 1,500 | 8,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,467 | △1,795 |
| リース債務の返済による支出 | △197 | △117 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △1,533 | △1,483 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,668 | 60 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △9,812 | △1,528 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 29,255 | 18,368 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 19,442 | 16,840 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

株式の分割

平成23年10月31日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年1月1日を効力発生日として株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株主への利益還元と当社株式の流動性の向上を目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成23年12月31日（土曜日）最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、1.5株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

| | |
|-----------------|-------------|
| 株式分割前の発行済株式総数 | 37,235,657株 |
| 今回の分割により増加する株式数 | 18,617,828株 |
| 株式分割後の発行済株式総数 | 55,853,485株 |

3. 分割の効力発生日

平成24年1月1日

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 商品分類別の名称 | 当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|-----------|--|-------------|
| | | 金額 (百万円) | |
| 卸売事業 | 化粧品 | 145,254 | 99.8 |
| | 日用品 | 232,801 | 104.3 |
| | 医薬品 | 90,893 | 93.6 |
| | 健康・衛生関連品 | 105,977 | 102.2 |
| | その他 | 6,201 | 91.2 |
| | 卸売事業売上高 計 | 581,128 | 100.8 |
| 物流受託事業 | 物流受託事業売上高 | 9,074 | 138.6 |
| | 合計 | 590,202 | 101.2 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②当第3四半期累計期間における卸売事業の販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

| 販売先業態別の名称 | | 当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) | 前年同四半期比 (%) |
|------------|---------------------------|--|-------------|
| | | 金額 (百万円) | |
| Drug | ドラッグストア | 347,341 | 99.7 |
| HC | ホームセンター | 70,737 | 101.2 |
| GMS | ゼネラルマーチャンダイジングストア | 40,850 | 97.7 |
| CVS | コンビニエンスストア | 45,019 | 107.4 |
| SM、SSM | スーパー・マーケット、スーパースーパー・マーケット | 42,410 | 100.0 |
| 仲間卸・均一ショップ | 化粧品・日用品卸等 | 8,433 | 98.9 |
| その他 | 輸出、その他 | 26,336 | 112.7 |
| | 卸売事業売上高 計 | 581,128 | 100.8 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。